

パイロット版 子どもにやさしいアカウンタビリティ

ChildFund
Alliance

free from violence and exploitation



事前準備

パイロット事業を開始するまえに次の準備活動を必ず行ってください

1

チャイルド・ファンドのスタッフの事前ワークショップ



パイロット実施4カ国のチャイルド・ファンドのスタッフ

- ・ 子どもにやさしいアカウンタビリティ手順
- ・ 子どもにやさしいアカウンタビリティのツール
- ・ ガイドライン、評価、報告の方法
- ・ 研修モジュール

2

被害を受けた子どもへの支援の流れを確認

子どもへの暴力/脅迫への対応



支援を仰ぐ子どもの保護を担う人/機関を1-2人/団体を特定

3

学校2校と学校に通っていない子どもたちが参加するプログラム2件の選定



少なくとも学校2校 +



2件のプログラム



学校に通っていない子ども



パイロット事業の対象として特定

4

学校、先生、PTA、NGOスタッフ等からの同意取り付け



意思決定者がプログラムを理解し支持することが必須です



チャイルド・ファンドのスタッフは、先生、PTA等と必ず会って話しましょう

説明すべきこと: 子どもにやさしいアカウンタビリティ事業の目的とスケジュール



もし、支持が得られない場合は、パイロット事業を行うべきではありません

5

参加する子どもたちを選ぶ

フィールド・マニュアルのガイドラインに沿って募集します。



1カ所につき10人を男女同数選定します。



6

若者への研修の準備

研修の成果は準備とファシリテーターの資質によって大きく左右されます



研修パッケージ



セッション毎に慎重に準備することで

目的が理解されます



7

子どもと保護者へのインフォームド・コンセント



参加する子ども



保護者



事業について十分に説明し、参加の同意を得ます

パイロット版 子どもにやさしいアカウンタビリティ

活動について

パイロット事業の活動は、「子どもにやさしいアカウンタビリティ」プロジェクトの手順に沿って、評価・分析・行動の3つの活動分野から構成されます。



活動1 アセスメント (評価)

1.1: 導入と子どものプロテクション研修

1カ所につき2件のワークショップ



1.2: 子どもを守る諸規則を知る

学校や地域で子どもを守ることにつながる規則・きまりにどのようなものがあるか調べます

通っている学校、参加しているプログラムに絞って調べます

1.3: 調べたことを共有する



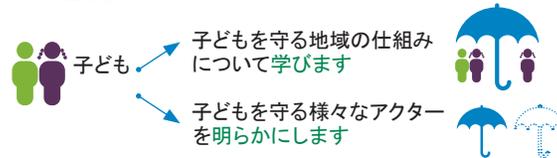
子どもを守る諸規則を子どもにわかりやすい言葉に書き表し、仲間や保護者、先生に説明します

研修パッケージには、すべてのアクティビティの進め方が盛り込まれています



活動2 分析

2.1: 子どもを守るアクターについて調べる



2.2: 子どもを守るアクターへのインタビュー

子どもインタビューを行ない、それぞれの役割・権限を理解します



2.3: ギャップや阻害要因を分析し報告する

子どもたちは以下のことを一緒に行います



2.4: 調査結果の共有

参加した子どもたちは、子どもを守る様々な取り組みの調査結果と分析結果を仲間や保護者、先生に共有します



活動3 行動

3.1: 子どもを守るためのギャップ、阻害要因を解消するための行動計画づくり

子どもを守る取り組みを強化するために変えるべきことを一つ考えます



現実的な目標を設定します

3.2: 仲間と地域の人たちの参加を呼びかける



3.1で特定した課題と解決策を伝えます

3.3: 行動計画の実施



子どもたちは仲間や地域の人々の応援を得て

